

低圧進相コンデンサによる火災に注意！

長年ご使用の低圧進相コンデンサは発火の危険性があります

印西地区消防組合管内において、
低圧進相コンデンサから出火する事例が発生しております。

【低圧進相コンデンサとは】

200V の業務用冷蔵庫や井戸ポンプなどモーターを使用する電気機器の電気効率をよくするための機器として、主に店舗や倉庫（作業場）に設置されています。

低圧進相コンデンサから出火する火災は、梅雨の季節から暑さが続く 9 月にかけて多発し、出火原因のほとんどが永年使用による絶縁劣化により発生し、出火に至っております。

【印西地区消防組合火災時の写真】



【火災になった低圧進相コンデンサ】

【低圧進相コンデンサの出火防止対策について】

1. 機器を使用しない時は、メインブレーカーを切ることを推奨します。
2. 概ね10年以上経過した製品は、専門業者による点検を受け、計画的に取替えをするようにして下さい。
3. 1975年（昭和50年）以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置が内蔵されていないため、被害が拡大する恐れがありますので、使用の停止や交換することが必要です。